

# 組織再建口腔外科学分野

## 1. はじめに

新潟大学歯学部設立50周年誠におめでとうございます。

昭和40年4月1日の歯学部発足に伴い、昭和42年4月1日に口腔外科学講座が設置され、同年6月に常葉信雄教授が赴任されました。昭和48年4月に口腔外科学第二講座の開設に伴い、口腔外科学講座は口腔外科学第一講座と改称され、昭和56年12月には2代目教授に中島民雄先生（現名誉教授）が就任されました。平成13年には大学組織の改編に伴い顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野（診療科名：口腔再建外科診療室）となり、同年11月には3代目教授として、齊藤力先生（現名誉教授、東京歯科大学客員教授）が東京歯科大学より赴任されました。その後、平成25年4月には、当分野出身の小林正治が4代目教授に就任し現在に至っております。

平成28年4月現在のスタッフ（関連部局を含む）は教授1名、准教授1名、助教5名、特任助教2名、医員3名、後期研修医2名、大学院生5名（社会人大学院生1名含む）です。また、5名が関連病院に長期出張という形で出向しております。当分野では、口腔外科領域における先進的な研究を推進するとともに、教育機関としての使命である、将来を担う優秀な歯科医師および口腔外科医の育成を図り、患者様や医師・歯科医師から求められる質の高い歯科医療の提供を目標としております。

## 2. 研究の概要

口腔外科学では腫瘍（悪性、良性）をはじめ、発育異常（顎変形症）、先天異常（口唇口蓋裂）、外傷（骨折や軟組織損傷）、睡眠呼吸障害など顎顔面領域の多様な疾患が治療の対象となるため、当分野の研究テーマも「組織工学的に作製したヒト培養骨・培養粘膜」「骨延長法ならびに骨移植術」「歯の移植の予後因子に関する研究」「顎変形症の診断と治療」「顎矯正手術後のPCR発生のメカニズムの解明」「顎変形症患者の心理に関する研究」「頭頸部癌の診断と治療」「睡眠呼吸障害の診断と治療」「口腔顎顔面インプラントによる顎口腔機能再建」など基礎から臨床まで多岐に渡っております。

特に、21世紀の生命科学では再生医療が大きなテーマとなっており、生命科学の一分野を担う者として再生医療について積極的に研究・臨床応用を行っていきたいと考えております。当分野では、これまでに培養複合口腔粘膜、培養骨、間葉系幹細胞を応用した骨再生、歯の凍結保存と移植、骨延長法における骨形成促進、移植骨の定量的および質的評価法の開発など再生医療にかかわる多くの研究を進めてきました。このような再生医療は今後の歯科医療そのものを抜本的に変えることができるものであると考えます。再生医療が実際に広く臨床応用されるまでには様々な問題をクリアしなければなりません。再生医療が持つ有用性、応用範囲の広さ、さらには免疫学的な安



【医局員】

全性を考慮し、さらなる発展が望まれていることから、今後もこの分野での研究の発展を図っていきたくと考えています。

一方、頭頸部癌や顎変形症、睡眠呼吸障害、顎口腔機能再建などの臨床的な研究テーマでは、その成果が治療成績の向上に直結するものであり、先端医療の研究開発は質の高い医療の提供に繋がることから、今後も積極的に進めていきたいと考えております。

### 3. 臨床の概要

新潟大学医歯学総合病院は、特定機能病院として地域の中核的医療及び高度医療を担う医療機関であります。したがって、当分野の診療部門である口腔再建外科としても地域住民や医師・歯科医師から求められる高度な医療を提供したいと考えております。当診療科宛の紹介状持参の患者様は毎日受け付けており、水曜、木曜および奇数週の月曜日は紹介状が無くても新患を受け付けております。再来は基本的には予約制ですが、急患対応も致しております。また、当直2人体制をとっており、顎顔面外科学分野および歯科麻酔学分野とともに、緊急の場合は365日24時間、診察をしております。毎週月曜日、朝7時30分から医局会（症例検討会）および、13時30分からは教授回診をおこなっております。

最近5年間における当科初診患者数は、平均1811人／年で、紹介比率は90%に達し、地域の2次・3次医療機関としての機能を果たしています。入院件数は平均368件／年で近年増加傾向にあります。当科ではあらゆる口腔外科疾患を扱っていますが、入院患者の特徴として顎変形症症例（29%）と悪性腫瘍症例（15%）が多いことです。さらに、特殊外来として、「口腔腫瘍外来」「いびき外来（睡眠呼吸障害）」「歯の移植外来」「顎堤形成外来」「培養粘膜移植外来」を開設しております。「いびき外来」は、1999年より院内外の呼吸器内科や耳鼻咽喉科と連携しながら、睡眠呼吸障害の治療を行っております。「歯の移植外来」では、1994年より2012年までに851本と多数の歯の移植を施行し、予後に関わる因子を解析するとともに治療成績のさらなる向上を図っています。「顎堤形成外来」では、機能的かつ審美的なインプラント補綴を行うために、インプラント前外科処置として様々な技術を駆使して骨や軟組織の増生を図っています。「培養粘膜移植外来」では、本院倫理委員会の承認を得て培養複合口腔粘膜の

教授	小林 正治
准教授（地域保健医療推進部）	鈴木 一郎
准教授	片桐 渉
講師	小島 拓
助教	小田 陽平
助教	新美 奏恵
助教	船山 昭典
助教	長谷部 大地
特任助教	加藤 祐介
特任助教	三上 俊彦
医員	金丸 祥平
医員	高辻 紘之
医員（社会人大学院生）	浅井 祐介
後期研修医	内川 恵里
後期研修医	高田 寛子
大学院生	須田 大亮
大学院生	荻野 奈保子
大学院生	竹内 涼子
大学院生	原 太一
社会人大学院生	細尾 麻衣
社会人大学院生	小野田 紀生
関連病院出向中	相川 弦
関連病院出向中	竹内 玄太郎
関連病院出向中	齋藤 大輔
関連病院出向中	齋藤 直朗
関連病院出向中	倉部 華奈

臨床応用を行っています。今後も、地域の医療水準の高揚と医療福祉の増進のために、常に新たな治療法や手術術式の導入を図るとともに、自治体や歯科医師会などと連携しながら新たな事業を立案・実行していきたくと考えております。

### 4. 人材育成の概要

近年の急速な社会構造の変革により、歯科医師には高度の歯科医療に関する知識と技術に加え、豊かな人間性や高い倫理観が求められています。また、大学院の教育改革においても、独創的な研究を遂行する能力のある研究者や高度医療専門職業人の育成が求められています。当分野では優れた口腔外科医を育てるために、臨床の技術と心、そして臨床に根ざしたアカデミックな好奇心を鍛えることを目的としたプログラムを構築しております。また、経験に合わせた目標を設定し、3年目に（公社）日本口腔外科学会認定「口腔外科認定医」、7年目に「口腔外科専門医」の取得を目指しております。この（公社）日本口腔外科学会認定「口腔外科専門医」は、2003年11月に厚生労働省から歯科関係の学会として最初に広告が認可されたものです。向上心と情熱を持った、口腔外科医を育てるべく、分野一丸となって努力しております。